

守る会NEWSLETTER

URL:<http://homepage3.nifty.com/save-teiji/>都立定時制高校を守る会・連絡会

連絡会事務局発行

来年の入試が大変！

～9/19要請行動報告

去る9月19日、守る会による都教委要請行動が行われました。以下に要旨をまとめます。
{参加者：守る会側・・・森代表・山川副代表・寺川副代表以下10人。 都教委側・・・松尾・黒崎（高校改革推進計画課長）・坂本（副参事）・大屋（学務部）}

△守る会（以下「守」）：では、前もってお願いしてあった要請項目についてお答えを。

▲都教委（以下「都」）：①来年の入試で、定時制に入学できなくなる生徒が予想されることについて・・・19年以降開校する新高校がすべてを受け入れられるはず。オーバーは想定していない。②募集停止校の留年問題について・・・生徒の進級に十分配慮するよう、関係部署で説明をしている。③両国・小石川移転に伴う諸問題についての対応について・・・入学募集時から移転の説明をしている。教育条件については今後とも配慮していきたい。④定時制高校の20人学級について・・・高等学校の学級編成については、40人となっている。東京都は独自に30人としている。独自に20人は無理。⑤募集停止校での配慮について・・・募集停止校について、配慮すべき点は配慮していく。⑥定時制教育振興策をどう考えるか・・・昼夜間定時制などを作り、都民のニーズに応じていくことが振興策と考える。関係部署に伝えていく。⑦改革推進計画の見直しを・・・都民の賛同を得ている。見直しは考えていない。要望は承る。⑧「国連子どもの権利委員会」勧告や東京弁護士会の「意見」をどう考えるか・・・国から都に対しては何も指示がない。計画は都議会でも承認されているので推進していく。

△守：先ほどの話では「入試での定員オーバーは想定していない」とのことだが、2004年、大江戸高校が開校した時、六学区で65人が2次で不合格。次の年は立川地区（八・九学区）で56人が不合格。大きな統廃合の次の年には、必ず不合格が出る。よって、来年も三学区・八王子地区などで起きる。全体としてでなく、地元にとってどうなのかという問題である。どうか。

▲都：確かに最初は倍率が高い。新しい学校への期待・掘り起こし効果などで高くなる。三学区・八王子で、期待が高まり、倍率が高くなることは確かにあり得る。しかし、今の計画で収容できる。新タイプの独立校を作ることが、定時制を希望している生徒のためになる△
△守：新タイプの学校が受け皿になるとおっしゃったが、八王子地区は10クラスなくなり、新タイプでは夜間部が2クラスしかない。期待・掘り起こしは高倍率になることであり、入れなくなる生徒ができることを予想しているのか？

▲都：今来ている生徒で、どうしても夜間でなければいけないという生徒がどれだけいるのか、かなり少ないのではないかと。拓真高校（八王子昼夜間）で吸収できると思う。高倍率はあり得ると思っているが、二次では若干の不合格者が出て、三次ではほぼ合格している。

△守：二次で不合格になるということは、進路が定まらないということ。進学をあきらめる生徒が出る。数は少なくとも重大。学ぶことを絶つことになる。きちんとした対応が必要ではないか。二次で不合格になった生徒への調査や対応は？

▲都：今の状況では難しいと思う。その先どうなったかの追跡調査やってない。落ちた生徒に対しては心が痛むが、通信とか、トライネットに行っていただくなどの対応を。

△守：周辺にないので、遠くまで行かなくてはならない。遠くの学校に行くには様々な負担がある。新タイプではなく、普通の夜間に行きたいという生徒はどうなるのか。

▲都：必ずしも夜間を希望する生徒ばかりではなかった。夜間定時制はメリットもあるが、クラブなどもあまりできないなどのデメリットも。そういう生徒に対しては独立校が必要。学区に一校作る。全部で11校。若干遠くなる生徒がいるのは分かるが、特色ある新タイプを作ることの方がメリットあり。心のケアとか対応も考えている。

移転に伴い、やめた生徒も

△守：両国や小石川の移転に伴い、転校せざるを得ない生徒が出た。生徒に負担を掛けないと約束していたのに、現実に問題が起こっている。幸い他に転校できたからいいようなものの、中退にもつながりうる。大きい問題だ。14日の朝日新聞に記事が出ている。都立定時制の中退率15.9%で、全国的に見ても突出していると。これは統廃合と無縁ではない。

環境が変わる中でやめていく生徒がいる事実をどう思うのか。

▲都：入学時にご了承いただいているので、基本的には問題ないと思う。両国は浅草に移ったが、不便が起きないように、三校合同の連絡会をしている。三修制もあるし、今までないこともやっている。中退率が何故高くなったかは今調査中。新タイプでは休みがちだった生徒を積極



的に受け入れたからかもしれないが、軽々にはまだ言えない。

△守：計画実施後4年間に、どういう問題が起こっているのかを都としても調査して欲しい。改善策を考えるべきだ。

△守：入学時に了解を得たという話だったが、荻窪でいま工事をやっている。その工事が遅れている。何故かというところも老朽化しているかららしいが。どういう了解を得ているのか。

▲都：仮設はこれから19年度まで使う予定。了解は得ている。

セーフティネットでなくなりつつある現状をどうするのか

△守：砂川はセーフティネットだとおっしゃる。確かにそういう学校は必要。しかし、セーフティネットというのは、いつでもどこでも学べるということ。今の定時制は「いつでも学べる」のか？昔はそうだったが、今は違う。入れない生徒が数多く出ている。来年の入試で、八王子地区は絶対破綻する。いろんな定時制を希望している生徒はいるが、新タイプの学校は全日制の変形である。夜間定時制の生徒は、昼間仕事をしている。八王子の定時制を希望する生徒はどこに行けばいいのか。どこもない。絶対にあふれる。募集停止をのばすとか、対策を考えて欲しい。そうしないと中学の先生も大変。三学区も夜間定時は全部なくなる。絶対破綻する。確かに、だんだん「沈静化」するかもしれない。でもそれは未就学者が増えることを意味する。つぶしておいて通信制にいけというのはひどい。

△守：大江戸高校ができたとき、本来定時制に行くべき生徒よりも、本来なら昼間に行くべき生徒が大江戸高校に集中し、本来定時制に行くべき生徒がはじかれた。クラス数があるから、ではダメ。

▲都：繰り返しになるが、確保・収容できるということで計画をしている。本来全日制に行くべき生徒が行くことも想定はしているが、定時制の生徒が行けるよう対策も考えたい。



△守：全体ではなく地域の問題である。地域の生徒が遠くまで通えない。数あわせではなく。

うちの子が落ちたら、都教委を恨みます！

△守：今中三の子どもを持っている。久留米もなくなり、そのあとの新タイプがどういう学校になるのか学校運営連絡協議会でも話されない。どんな学校になるのかまだ分からない。清瀬からどこへ行くのかというと立川か豊島あたり。これも入れるかどうか分からず悩んでいる。中学の先生も分からない。

▲都：新タイプの説明会がなかなか中学の先生に伝わらない面があるかもしれない。もっと

情報提供は必要だと思う。

△守：もう進路指導は始まっている。でも三者面談をやっても決まらない。中学の先生に情報をきちんと伝えてくれなければダメ。矛盾のすべては統廃合から始まっている。今度できる総合学科の中身がいまだに分からず不安である。生徒が犠牲になっている。

△守：八王子で、落ちた子はどこも行けない。二次はない。落ちた子はどう指導するのか。極端に言えば、定時制しか受けられないような生徒しか受けさせないとか、工夫しないとダメ。新タイプの表面的な宣伝だけして高倍率をあおるのはおかしい。深刻なのは八王子。どう説明するのか。募集停止を延期するなどの対応策を考えないのか。

▲都：繰り返しになるが、基本的には吸収できるような形で準備している。二次募集では難しくても三次では・・・。

△守：どこで二次試験をやるというのか。二次も三次もない。

▲都：都内では・・・。

△守：都内じゃなくて八王子の話。

▲都：三次試験をどこがやるかなどはまだ分からない・・・。

△守：大江戸も同じだった。宣伝が行き届いたため、全日希望の子が流れた。三次試験なんかない。八王子でまた同じことが起こる。

△守(森代表)：入れるように考えているとおっしゃっていただいた。二次で入れない子がかなり増えている。八王子で落ちた生徒は行く場所がないことが予想される。ぜひ検討してください。中退率は調査中らしいが、不合格者の追跡調査が難しいというのは理解できない。そういうことも含めて検討しなければ次の施策が作れないはず。そして、調査をするだけでなく、ぜひ手当をして欲しい。八王子地区では深刻。善処を。他の項目については話し合いができなかったので、ぜひまた状況の推移を見て別の場を設定していただきたい。

△守：この問題は中学では混乱している。中学の先生も分からないでは困る。何らかの対処をすぐしてくれないと大混乱が予想される。うちの子どもが入れなかったら、都教委を恨みますよ！

△守：新タイプの学校の違いが現場でも分かっていない。まもなく10月。進路を決める重大な時期。この4年間の実態を調査分析して今後どうしていくのか、いったん決めたことを見直しすることをためらわないで欲しい。調査をぜひやって欲しい。

△守：機会を改めてまたお願いしたい。夜間定時制で自分の子どもも大きく成長した。再度ご検討を。新タイプ・改革を否定しているわけではない。同時に夜間の良さも認めていただいて、必要なら見直しをお願いしたい。

次回の**拡大幹事会**は**10月22日(日)5時半より本部7階**です。来年の入試に関する問題をどう詰めていくか、例年持っているイベントをどうするか、などについて話しあいます。よろしくご参加ください。

